

～浜・RUN・海～

校訓
○自ら学ぶ
○けじめをつける
○励まし合う
○やり抜く

総協和

家庭・学校・地域が一体となった教育を

校長 町田 達美

梅の実が落ちているのを目がけて、アナグマが出没しています。

5月19日からの週は、1年宿泊学習、2年修学旅行、3年職場体験学習と学校外での体験学習を行いました。初めて経験することが多く、楽しさを味わったり、緊張したりと学校では経験できないことを学んだようです。

さて、今年の4月1日から鹿児島県家庭教育支援条例が施行されました。この条例の目的は、「家庭教育の支援に関し、基本理念を定め、県の責務並びに保護者、学校等、地域住民、地域活動団体及び事業者の役割を明らかにするとともに、家庭教育を支援するための施策の基本となる事項を定めることにより、家庭教育支援施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの生活のために必要な習慣の確立並びに子どもの自立心の育成及び心身の調和のとれた発達に寄与すること」と定められています。そして、基本理念として、保護者は、その子どもの教育について第一義的責任を有すること、家庭教育の支援は、学校や職域、地域その他の社会のあらゆる分野におけるすべての構成員が、それぞれの役割を果たすとともに、家庭教育の自主性を尊重しつつ、相互に協力しながら一体的に取り組むことを旨として行わなければならないと規定されています。以下、県の責務や保護者の役割、学校の役割、地域住民等の役割などが定められています。

この条例で、私が興味深く感じたのが、「親になるための学びの推進」という文言です。ややもすると、現在の中学生の姿に目が行き、挨拶ができるか、相手と良好なコミュニケーションがとれるかなどを考えがちです。今の中学生は、数年後、十数年後、親になるわけです。今の子育てを支援することだけでなく、将来の子育ての支援をしているんだという視点で学校教育をしていくべきだと感じました。

言い古された言葉ですが、家庭と学校、そして地域が一体となった生徒の育成が大切と考えます。そこで、お願いですが、地域での子どもたちの様子をいろいろ教えてください。それを踏まえて学校でも推進していきたいと思えます。挨拶のこと、交通安全に関すること、地域行事での子どもたちの様子など、何でもいいです。将来を見通して、できることをしていきましょう。

【6月の主な行事】

- 4日(水) 鹿屋市教育委員会計画訪問
- 5日(木) 避難訓練(火災想定)
- 6日(金) ヨット学習Ⅰ(4～6校時)
- 10日(火) 学校納金日(～12日)
- 教育相談(～11日)
- 高校説明会(～11日)
- 13日(金) ヨット学習Ⅱ(4～6校時)

- 16日(月) ヨット事後学習
- 17日(火) 家庭学習強化週間(～26日)
- 17日(火) 中体連地区総体(～19日)
- 24日(火) } 1学期期末テスト
- 26日(木) }
- 26日(木) 地域奉仕貢献活動

様々な活動を通しての『学び』に励みました

12日(月)に行われた生徒総会では、昨年度の生徒会各専門部の活動報告や、今年度の活動計画等の確認、生徒からの要望に対する各専門部から回答が行われました。自分たちの手で、より良い高須中学校を作り上げようとする雰囲気にあふれた総会でした。



15日(木)に地区陸上大会が開催され、各学年から代表となる生徒が、選手あるいは運営補助員として大会に参加しました。全員がそれぞれの場で精いっぱい力を尽くして大会に臨んでいました。

【1年：集団宿泊学習】

20日(火)より「アジア・太平洋農村研修センター」と「県立大隅少年自然の家」の2か所で宿泊学習を行いました。学級旗を作成したり、高峯登山・革細工を体験したりなどの活動を通して、みんなで協力して最後まで成し遂げる大切さを学びました。



【2年：修学旅行】

2年生は関西方面へ修学旅行に行きました。「人と防災未来センター」で災害時の対応や命を守る大切さを学んだほか、奈良公園・大阪城・神戸港震災メモリアルパーク等の見学、京セラドームでの野球観戦を行いました。その場で見学することでしか得られない「学び」に励みました。

【3年：職場体験学習】

3年生は20日(火)より3日間、鹿屋市内の各種事業所で、『働くことの意義』について実際にその仕事を体験しながら学びました。この機会を得たことをもとに、改めて自分の将来についてじっくりと考える良い機会となりました。

